

平成17年9月6日大水害

あれから10年

>25<

教訓は生かせるか：

パネルディスカッション

「災害の教訓を生かす」
自助・共助・公助」

【森川】次に、TEC
—FORCE(テック
・フォース)といま
して、実際に災害が起
こった後にどのような
支援をやっているかと
いうことを説明しま
す。

テック・フォースの
隊員は全国に7100
人います。九州では6
89人が隊員として
すでに任命されていま
す。
大規模な災害があっ
た場合には、防災ヘリ
コプター、排水ポンプ
車、対策本部車、照明
車といった資機材とこ
もに、全国から集結し
ます。

実際に平成24年の熊
本県の水害には全国か
ら1200人の方が来
て、排水ポンプ車で昼
夜問わず排水作業を
やっていたり、
私どもは時間がなか
な取れないので、別の
地方整備局から来て土
砂災害の被災の調査を
やっていたりだまし
た。

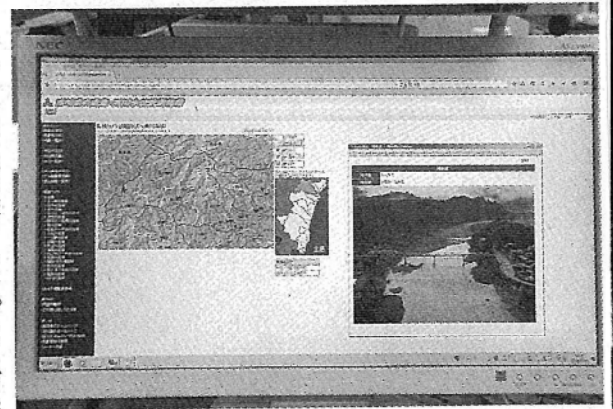
それから、ヘリから
撮った画像情報を市の
防災会議の中で共有し
ておくこと。
二つ目に、台風とか
大雨が降っているとき
の状況がどうなってい
るのかということ。三
つ目に、どうも危なく
なりそうだなというの
が予想されたときに早
めに避難をすること。
この三つかなと考えて
います。そういう視点
で情報提供をするとい
うことで考えていま
す。

【杉尾】では続いて、
図師部長、県のソフト
対策についての取り組
みを紹介してください。
【図師】災害から身を
守るポイントとして三
つあるかなと思って
おります。一つ目は、
普段から自分が住んで
いるのがどんな地域な
のかということを確認
しておくこと。

県庁のホームページ
が分かりにくいという
お話も一部であるの
で、ご説明します。ホ
ームページを開いてい
ただくと、「安全・安心
情報」という項目が出
ます。
この中の「防災危機
管理情報」を開くと、
気象情報あるいは河川
の水位情報で県の地図
が出てきます。ここで
自分が知りたい地域を
クリックすると、各情
報が出ます。

全国から集結するテックフォース

県庁HPで河川水位など各情報



県庁ホームページで提供している
河川監視カメラの画像

それから、「土砂災害
警戒区域マップ」のペ
ージで自分のエリアを
拡大していくと、地滑
りとか崖崩れとか土石
流とか、そういった危
険箇所が出てまいりま
す。ふだんからチェッ
クしていただければ幸
いだと思います。
それから、画面上の
方にQRコードがあり
ます。

ます。ここをスマート
フォン、携帯電話で読
み込むと、情報が簡単
に取れるようになります。
監視カメラのボタン
を開くと、河川の画像
が出てきます。静止画
像になっていますが、
数分間隔で更新してい
くので、状況は刻々分
かるようになっており
ます。

国土交通省とか気象
庁へのリンクも張って

防災・減災を考える
シンポジウムから――

いるので、そこをク
リックしていただけれ
ば簡単にアクセスでき
ます。
私が申し上げるまで
もなく、ハードはまだ
まだ十分整備できない
ところもありますの
で、ソフト整備も併せ
て実施していきたいと
思っています。

コーディネーター
杉尾哲(宮崎大学名
誉教授)

パネリスト

首藤正治(延岡市長)
図師雄一(宮崎県県
土整備部長)
大塚法晴(元延岡河
川国道事務所長)
森川幹夫(九州地方
整備局河川部長)
猪狩信浩(NPO法
人宮崎県防災士ネット
ワーク理事長)
福島宏一(元延岡市
消防団長)
亀長馨(元北方町川
水流区長)